鹿児島建設新聞
2025（令和7）年10月21日

品質向上セミナー

エラー防止に努めて

建コン協九州支部

成果品の品質向上へ毎年実施している＝鹿児島市の宝山ホール

建設コンサルタンツ協会九州支部（穐山泰治支部長）は17日、鹿児島市の宝山ホールで2025年度地域セミナーを開いた。同セミナーは成果品の品質向上を図るために毎年実施されており、今年度は、支部会員や県・市町村職員ら約40人が参加。チェックポイントシートの活用方法やエラー防止への対策法などを学んだ。

冒頭では、同支部の安永信一郎理事（国土技術コンサルタンツ）が「各会社の技術力向上に寄与できれば」と挨拶。品質向上委員会の委員らは、同支部が独自に作成したチェックポイントシートの活用例について、道路、河川構造、仮設分野のエラー事例を交えながら説明した。

毎回好評の特別講演では、県土木部監理課の本釜耕一技術補佐が、業務委託の周知事項を自身の経験を織り交ぜながら解説し、留意点なども紹介した。

セミナーは今後、鹿児島会場を皮切りに大分県（24日）、宮崎県（31日）で実施。同委員会の石井健太郎委員長は「仮設構造物施工時の事故が増えている。会計検査の準備を含めて、チェックポイントシートを活用してほしい」と話した。

お手軽で便利な
購読料のお支払いは
[自動振替で]
鹿児島建設新聞
099-227-5100へ